

松戸市立病院の建て替えまたもや大ピンチ！ 公募のゼネコン全てが撤退で問われる市の責任

昨年12月中旬、松戸市立病院の建て替えに関するショッキングな情報が駆けめぐりました。およそ3年後の平成29年3月の開院を目指していた新市立病院。その建設において、松戸市の公募に参加したゼネコン全てが撤退を表明。ただでさえ建て替えの長期遅れが問題となっている上に、これでまたさらに新市立病院の実現は遠のきました。平成22年の松戸市長選挙において、新人として出馬した本郷谷氏。法律上できるはずのない「64億円での現地建て替え」を公約として唱え、不適切な民意誘導で当選を果たしたことが、市政の混乱の始まりでした。



耐震性や院内感染など不安大きい現市立病院 体裁や利権を捨てて一刻も早い計画再建を！

現地建て替えの公約を実現できず苦しい立場の本郷谷市長は、さまざまな言い訳と詭弁(きべん)を口にしながら、現地建て替えの公約を破棄し、千駄堀へと移転先を変更しました。一刻も早い建て替えが求められる緊迫した状況において、既に約4年もの空白期間が生じています。それどころか今回のゼネコンの撤退で、新病院の移転そのものが暗礁に乗り上げてしまうかもしれません。市立病院の耐震性や安全性は、すでに限界に達しつつあります。だからこそ、みのわ信矢もかつては議会内の病院建設特別委員として、実現可能性の高い本質的な移転計画案を提言してきました。今こそ本郷谷市長も、不安定で不透明な政策展開を後押しする議会筋も、面子や体裁をに縛られず、利権を捨て去り、市民の命と健康、安全と安心を最優先とした行政運営に立ち返るべきなのです。



早急な建て替えが望まれる市立病院

駅で毎朝演説しています！

地域との対話と交流こそが政治の原点と考えるみのわ信矢は、毎朝、どこかの駅で街頭演説をしています。常盤平、八柱、五香、みのり台。そのどこかでお見かけの際は、ぜひお声がけください。みなさんからの声援を励みにがんばります！



松戸市議会議員選挙は今年11月の予定です



みのわ 信矢 プロフィール

昭和42年 松戸市常盤平生れ
昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業
家族構成 妻と子ども2人(小・中学生)の4人家族

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師(地方自治論)
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏(エレキギター)、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部